



川崎市青少年科学館 運営基本計画

概要版

平成 24 年 3 月

川崎市青少年科学館

マスコットキャラクター『かわさきりん』

計画策定の背景

川崎市青少年科学館の概要と特色

- ・川崎市青少年科学館（以下、青少年科学館）は、生田緑地に立地する川崎市唯一の自然系博物館です。
- ・宇宙と川崎の身近な自然について学ぶことができる博物館としての活動に取り組んでいます。
- ・昭和 58 年にスタートした市民とともに取り組む川崎市の自然環境調査は今日まで継続され、「市民と歩む自然博物館」活動の根幹となっています。近年においては、「21 世紀子どもサイエンス事業」など、科学を楽しく学ぶ機会の提供にも力を入れています。
- ・生田緑地の深い緑に囲まれた場所に立地しており、自然を学習する生きたフィールドとなっています。
- ・川崎市における自然学習拠点施設としての役割を中心として、科学技術に関わる人材育成機能や生田緑地の魅力の発信拠点、観光振興の拠点としての役割も期待されています。

【川崎市青少年科学館の施設・事業・運営の成り立ち】

主な事業	沿革
プラネタリウム館	昭和 46 (1971) 設置 昭和 55 (1980) 機器更新 平成 16 (2004) メガスターII 通年公開 平成 24 (2012) 改修オープン
本館（天体観測室）	昭和 56 (1981) 開館 平成 24 (2012) 改修オープン
本館（展示室）	昭和 57 (1982) 開館 平成 24 (2012) 改修オープン
市民天体観望会	昭和 56 (1981) 開始
川崎市自然環境調査	昭和 57 (1982) 第 1 次調査開始～ 第 7 次調査完了及び第 8 次調査方針の検討
自然観察会	昭和 57 (1982) 開始
こども自然教室	昭和 63 (1988) 開始
21 世紀子どもサイエンス事業	平成 12 (2000) 開始
児童・市民プラネタリウム番組制作教室	平成 16 (2004) 開始～現在、改修整備事業のため休止中
博物館登録	昭和 57 (1982) 登録
運営方式	昭和 46 (1971) 川崎市直営 平成 5 (1993) (財)川崎市市民ミュージアム委託 平成 11 (1999) (財)川崎市博物館振興財団に名称変更 平成 17 (2005) (財)川崎市生涯学習財団に統合 平成 18 (2006) 川崎市直営 平成 25 (2013) 施設運営・管理業務に、生田緑地及び緑地内施設の一体管理の一環として指定管理者制度導入予定

計画策定の背景と趣旨

- ・青少年科学館は、生田緑地の魅力を高める施設にすることを目的とした改築整備事業（平成 22 年 8 月着工、平成 24 年 4 月オープン）に取り組んでいます。
- ・「川崎市青少年科学館運営基本計画」は、新たな施設機能を十分に生かした館の事業の実施方針と中長期計画を策定するものです。
- ・策定にあたっては、管理運営方式として、生田緑地全体および園内施設の民間活用による横断的管理運営体制への移行も視野に入れるものとします。

【青少年科学館改築基本計画（平成 20 年 11 月策定）の基本方針】

- 自然豊かな生田緑地に立地する本市唯一の自然系博物館としての基本機能の充実
- 「天文」「自然」「科学」を三本柱とした「市民と歩む自然博物館」として、これまでの活動を継承、発展
- 生田緑地の魅力や利便性の向上につなげる運営

計画の期間

- ・平成 24 年度から平成 33 年度までの概ね 10 年間を計画期間とします。
- ・単年度ごとに事業計画を作成し、目標の達成度や進捗状況を確認しながら推進していきます。

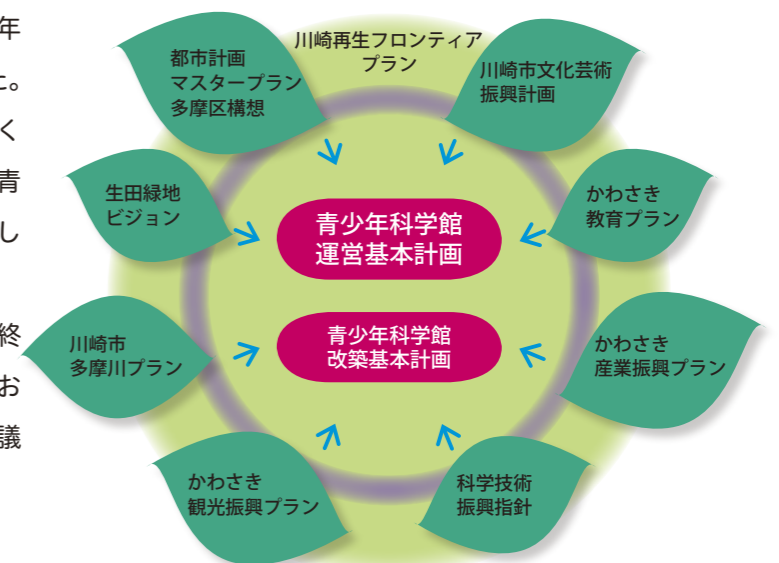
上位・関連計画における位置づけ

- ・「川崎市青少年科学館改築基本計画」の基本方針を踏まえ、その機能を十分に生かせるものとします。
- ・「生田緑地ビジョン」や「川崎再生フロンティアプラン」と整合を図りながら、社会状況の変化に対応し、必要に応じて見直しを行うことも視野に入れます。

計画策定の体制

- ・学識経験者、社会教育関係者、地域代表者、教育関係者および行政関係者からなる「川崎市青少年科学館運営基本計画策定委員会」を設置しました。
- ・計画策定委員会では、市民懇談会を通じて、広く市民の方々からの意見を聞きながら、「川崎市青少年科学館運営基本計画」に関する事項を検討しました。
- ・「青少年科学館運営基本計画」の素案および最終案は、学識経験者や教育職員、社会教育関係者および公募市民からなる「川崎市青少年科学館協議会」に諮問し、意見をいただきました。

【青少年科学館運営基本計画の位置づけ】



基本理念

市民とあゆむ そら 宙と緑の科学館

自然豊かな生田緑地に立地する川崎市青少年科学館は、市民との協働、学校教育との連携など、市民に開かれた博物館としてのこれまでのあゆみを継承し、天文（宙（そら））と緑地の自然（緑）を題材に、体験と知識の両方を大切に、本質を探究する科学的視点に立った事業を展開し、科学教育を推進することで、科学への関心を高め、科学的な見方や考え方を養い、世界に目を開いて貢献できる人材を育てることを理念とします。

さらに科学館の事業や活動を通じて人と人をつなぎ、共に学び楽しみ活動する生涯学習社会を創出し、個性と魅力が輝く地域（まち）づくりに寄与します。



基本理念を実現するための4つの基本方針



方針

1

開かれた
博物館

市民と社会に貢献する活動

博物館活動の基盤である調査研究、収集保存活動を計画的に実施して、川崎市の貴重な財産である自然や天文に関する資料・情報を広く市民・利用者に提供し、充実した展示事業や教育普及事業を展開します。

快適で安全、安心な施設

誰もが安心して利用でき、いつでも使いやすく親しみのもてる施設であるために、利用者の視点に立って施設環境を整え、生田緑地利用者の憩いの場、市民の活動拠点、子どもたちが遊びに来られる場所として、多様な利用者のニーズに応えるサービスを提供します。

方針

2

体験する
博物館

自然体験

緑地に囲まれた立地を生かして、本物の自然に触れる観察や体験等の機会を提供し、自然への親しみや理解を深め、自然科学に興味を持つきっかけをつくります。

天文体験

プラネタリウムの星空と本物の星空を結び、投影と天体観察を中心とした天文学習活動を展開することで、宇宙と科学に対する興味や理解を深めます。

科学体験

実験や工作等、実体験と交流を通じて科学に触れる機会を創出し、市民の科学への興味や科学的思考を育みます。

方針

3

育む
博物館

学校教育支援

理科教育を支援する博物館として、川崎市内外の小中学校と密接に連携し、学習投影や実験教室、自然観察等を通じて、児童生徒の科学への理解や興味を育みます。

次世代育成

科学に興味を持つきっかけづくりから探究心や創造性を育むものまで、子どもたちの成長と自己実現を支援する学習活動を展開します。

生涯学習・社会貢献活動支援

市民の生涯学習活動を支援し、自己実現や社会貢献につながる活動の場をつくり、学習内容や学習方法の提示などの支援体制の充実を図ります。

方針

4

つなげる
博物館

人をつなげる

生田緑地で活動する市民団体をはじめ、川崎市でさまざまな活動を展開する市民と連携し、相互に支援しながら、情報交流の活性化や活動の充実化を図ります。

まちをつなげる

地域の市民・団体・企業等と連携し、生田緑地や多摩区をはじめとする川崎市の地域振興や文化振興を通じたまちづくりに貢献することをめざします。

学びをつなげる

生田緑地内の文化施設をはじめとする類似・関連施設や大学等の機関と連携・協働し、展示、教育普及、調査研究、収集保存等の活動を充実させ、市民サービスの向上を図ります。

事業活動

展示事業

教育普及
事業

調査研究
事業

収集保存
事業

ネットワーク
事業

事業計画

方針1
開かれた博物館

方針2
体験する博物館

方針3
育む博物館

方針4
つなげる博物館

事業区分	事業項目	関連方針	実施事業	中長期的取り組み	
展示事業	自然展示	①わかりやすい展示と保守管理及び更新が容易なシステムの確立	方針2	・リアルタイムな情報を発信できる体制の構築 ・展示の内容を更新できるシステムの導入	・リアルタイムな情報発信と標本等展示資料の定期的な入れ替えによって展示を更新する仕組みの確立
		②展示と活用	方針2 方針3	・展示の「学び」から生田緑地の自然の「観察」へと繋げる展示解説	・展示と連動したワークショップの実施など、体験型の展示のさらなる充実
	天文展示	①川崎方式のプラネタリウム投影	方針2	・月ごとに話題を変える一般向け投影 ・子ども向けの投影や、小中高等学校を対象とした学習投影	・新開発の新型メガスター投影システムと天体観察スペース「アストロテラス」を加え、実体験によって星空への興味を喚起する新たな川崎方式の確立
		②基礎的な内容から最新情報まで反映した天文展示	方針2 方針3	・プラネタリウム観覧者の宇宙へ興味を喚起する展示 ・学校向けの学習投影時の予習・復習に活用できる情報の提供 ・星空観察に役立つ情報の提供	・その時々プラネタリウムの番組やアストロテラスでの星空観察プログラムと連動した発展的な内容の展示の実施
	科学展示	①科学に関する企画展の実施	方針4	・川崎市で生まれた先端技術を扱い、その内容や開発に至るまでの経緯を紹介する企画展の開催	・学習室や実験室の壁面の活用による体験学習の充実 ・「ワクワクドキドキ玉手箱」などの実験観察キットの紹介
	教育普及事業	自然体験	①生田緑地での自然体験活動	方針2	・生田緑地の自然や地層を紹介する観察会や植物をつかった工作教室等、多様な観察会や自然教室の実施
②連携による自然体験活動			方針2 方針4	・川崎市近郊の自然や学習施設などを観察・見学する講座の実施	・活動フィールドの拡張・継続的に参加できる教室や、大人向けの教室などの実施 ・多摩川を主要フィールドの一つと位置づけ、定期的な自然教室を開催
③展示解説やワークショップ			方針2 方針3	・生田緑地の自然観察に誘うため、職員やボランティアによる展示解説や、生田緑地の最新情報を踏まえたワークショップを実施	・展示解説ボランティア育成講座修了者を活かした展示解説やワークショップの実施による、展示を媒介とした市民の交流と学び合いの実現 ・解説やワークショップのメニューや手法の多様化
④学校支援			方針2 方針3	・学習指導要領に対応した授業支援を目的として、生田緑地の林や地層の観察などのフィールドワークを支援	・フィールドワークの学習効果を高めるため、事前・事後学習も含めた学校支援プログラムを開発
⑤人材育成			方針3 方針4	・展示解説ボランティアの育成 ・展示解説ボランティアの活用	・ボランティアの自立的な活動の支援（スキルアップ、活動内容のステップアップ等）
天文体験		①市民や児童生徒が参加できるプラネタリウム番組制作	方針3	・大人を対象としたプラネタリウム番組制作教室の実施 ・児童生徒を対象としたプラネタリウム番組制作教室の実施	・教員や児童生徒が自らプラネタリウムの学習番組を制作・投影するプログラムの実現
		②プラネタリウムを活用した教室・講座の開催	方針3	・メガスターの特徴を生かした星雲・星団観察講座 ・特別講師の招聘によるシニア向けのプラネタリウム投影 ・外部講師による天文講演会	・市民による研究成果の発表会・市民によるプラネタリウム制作活動を発展させた全国プラネタリウムコンクールの開催等
		③プラネタリウムを活用した他分野との融合イベント	方針1 方針4	・プラネタリウムにおけるコンサートの実施	・より多彩な芸術とプラネタリウムの融合をめざし、連携先の開拓、演出手法の開発を実施
		④アストロテラスでの天文体験	方針2	・夜間の定期的な天体観望会の開催 ・日中の太陽や恒星・惑星の観察会を実施	・星空を身近に感じ、広く星に親しんでもらうことを目的に実施してきた事業の新展開と充実
		⑤学校支援	方針3	・学校を対象としてプラネタリウムやアストロテラスを活用し、科学館での効果的な学習を推進 ・学校を会場とした天体観望会を夜間に実施	・科学館の調査研究で得られた成果を還元し、学校の天文学習に活用・プラネタリウム番組制作ソフトを市内全小中高等学校に配布。児童生徒の創意工夫によるプラネタリウム番組制作と制作した番組の発表を支援
		⑥人材育成	方針3	・天体観測ボランティアの育成 ・天体観測ボランティアの活用	・ボランティアの自立的な活動の支援（スキルアップ、活動内容のステップアップ等）
科学体験		①市民の多様な学習ニーズに応える実験教室の開催	方針2	・初級・中級・上級、単発型から通年型まで、多彩な講座を実施 ・子どもから大人までの多様な市民ニーズに応えられる講座を実施	・子どもだけでなく、大人を対象とした科学教室の開設 ・生田緑地来訪者が気軽に楽しめるサイエンスショーの実施 ・サイエンスショーや科学実験を媒介とした異世代の交流・学習イベント（サイエンスフェスティバル）を実現
		②21世紀子どもサイエンス事業の推進	方針2 方針3	・科学の楽しさを伝えるツール「ワクワクドキドキ玉手箱」の開発 ・玉手箱を運用し、実演を行う科学ボランティアの育成 ・市民の交流を生み出す科学イベントの実施	・これまでの活動の成果である教材（ワクワクドキドキ玉手箱）と人材（科学ボランティア）を活用して、学校の授業を支援 ・科学ボランティアの活動を支援し、科学を楽しむ文化を地域社会に広げ、根付かせていく ・民産学官の連携を強化することで、市民、教員、企業、研究者、大学生等、多様な人々の出会いと交流を生み出す科学イベントを開催
		③学校支援	方針3	・科学館の人材と資料を活用した小中学校理科授業への支援 ・小中学校理科作品展や中学校連合文化祭の共催による理科教育への貢献	・理科教材の開発 ・科学館のノウハウを生かした学校支援プログラムの開発
		④人材育成	方針3	・「ワクワクドキドキ玉手箱」を運用し、科学体験講座の指導者として活躍できる科学実験ボランティアの育成と活用	・ボランティアの自立的な活動の支援（スキルアップ、活動内容のステップアップ等）

事業計画

方針1
開かれた博物館

方針2
体験する博物館

方針3
育む博物館

方針4
つなげる博物館

事業区分	事業項目	関連方針	実施事業	中長期的取り組み
調査研究事業	自然分野に関する調査研究	①川崎市自然環境調査の継承発展	<ul style="list-style-type: none"> 川崎市自然環境調査の実施 市内の動植物生息データの集積 	<ul style="list-style-type: none"> 市民に周知し、役立てることのできる調査研究テーマの設定や成果発表方法の検討 地質を含む川崎の自然の全体像を明らかにすることをめざし、大学等の研究機関や自然調査研究団体等、より多様な主体との協働を実施
		②継続調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> タヌキ等の哺乳類の分布状況調査 ゲンジボタルの分布状況調査 ホトケドジョウの種苗保護 	<ul style="list-style-type: none"> 既存調査の継続と調査対象の拡大の検討
		③自然について広く市民に伝えるための調査研究の実施	<ul style="list-style-type: none"> 自然をテーマとした調査研究 研究紀要、ホームページ、館内報告会等での研究成果の発表と市民・利用者への周知 	<ul style="list-style-type: none"> 学芸担当職員の専門性を生かして地域の自然を継続的に観察・分析する調査の実施 調査研究活動成果の市民への公開及び、職員の専門性を高めることによる展示や学習プログラム等への反映
	天文分野に関する調査研究	①天文現象についての調査研究の継続	<ul style="list-style-type: none"> 太陽表面観測や天文現象の観測等の調査 観測の継続による経年変化の調査 	<ul style="list-style-type: none"> 調査成果を蓄積し、プラネタリウムや展示を通じて市民に還元 そのときどきの天文現象に合わせた調査とその結果のプラネタリウム番組等への反映
		②天文現象について広く市民に伝えるための調査研究の実施	<ul style="list-style-type: none"> 天文現象をテーマとした調査研究 研究紀要、ホームページ、館内報告会での研究成果の発表と市民・利用者への周知 	<ul style="list-style-type: none"> 調査研究活動の成果を公開し、プラネタリウムや展示や学習プログラム等を館の活動に反映させ、市民の天文現象への理解を深める
	科学教育に関する調査研究	①科学について広く市民に伝えるための調査研究の実施	<ul style="list-style-type: none"> 「ワクワクドキドキ玉手箱」の効果測定 玉手箱を学校の授業で活用するためのプログラム等の調査研究 新たな玉手箱の開発のための、市民の関心を高めるような実験項目の調査研究 	<ul style="list-style-type: none"> 調査の成果を蓄積し、調査の結果を「21世紀子どもサイエンス事業」を中心とした科学教育普及事業へ反映
収集保存事業	自然資料の収集と保存・管理	①川崎の自然についての資料収集と保存・管理	<ul style="list-style-type: none"> 標本資料の体系的な収集・整理・分類・保存 収蔵資料のデータベース化の推進 収蔵資料を利用した講座等の開催による市民への還元 	<ul style="list-style-type: none"> 収蔵資料のより効果的な活用 国際的な機関へも資料の情報を提供し、研究機関への資料貸し出しについて検討
	天文資料の収集と保存・管理	①天文についての観測データの収集と保存・管理	<ul style="list-style-type: none"> 星空観測、太陽観測等の調査データの蓄積 観測資料のデータベース化の推進 観測資料を利用した天文講座等の開催による市民への還元 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ等を活用して資料を広く公開
		②プラネタリウムについての資料収集と保存・管理	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の投影話題や子ども向け番組等のプラネタリウム番組のアーカイブスの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 番組や解説資料のアーカイブスを作成して共有化を図り、今後の番組づくりに生かす
科学教育に関する資料の収集と保存・管理	①科学実験についての資料の収集と保存・管理	<ul style="list-style-type: none"> 科学実験及び開発した科学実験手法に関する資料の収集保管及び次世代への継承 	<ul style="list-style-type: none"> 実験教室に関するノウハウの整理・保管・共有化 学校教育支援、ボランティア人材育成等、新たな事業課題への対応や新規事業開発に役立てる 	
ネットワーク事業	展示・企画ネットワーク	<主な関連団体> 市民団体・市民有志 / 大学・研究機関 / 関連企業 / 関連施設	<ul style="list-style-type: none"> 地域ボランティアのスタッフとしての参画の推進 企業や研究機関のアドバイザーとしての参画の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 館の主催する企画展等に対して市民や研究機関や企業の参画や協力を得るだけでなく、共同企画展の開催など、パートナーシップによる事業を実施
	調査研究・収集保存ネットワーク	<主な関連団体> 市民団体・市民有志 / 大学・研究機関 / 関連企業・関係行政機関	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象に関する情報や専門知識を有する研究機関や市民の調査団体、関連行政機関との連携協力体制の構築とノウハウの共有 博物館実習等による人材育成支援 	<ul style="list-style-type: none"> 各団体や機関が保有する資料の相互提供や情報共有の仕組みづくり
	学習支援ネットワーク	<主な関連団体> 市民団体・市民有志 / 小・中・高等学校	<ul style="list-style-type: none"> 科学学習を実施する教員や市民との連携による科学教室の市内各地への展開 出前授業や実験キットの貸出等 	<ul style="list-style-type: none"> 学校団体の科学館利用を促進し、より効果的な事業を実施するために、教職員と博物館職員との交流を促進 教職員、ボランティア団体、館の職員の協働による学習プログラムの開発・実施体制づくり
	地域振興ネットワーク	<主な関連団体> 地域の町会・商店会 / 生田緑地内施設 / 市民団体・市民有志 / 大学・研究機関 / 関係行政機関	<ul style="list-style-type: none"> 地域の団体や関係機関との協力による生田緑地や科学館を活用した事業の企画・実施 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の団体が生田緑地を活用して企画・実施する事業の支援 生田緑地および北部地域の魅力づくりにつなげるための、生田緑地の自然等に関する知識や事業ノウハウを活かした専門的な支援
	生田緑地ネットワーク	<主な関連団体> 川崎市立日本民家園 / 川崎市岡本太郎美術館 / 生田緑地ビジターセンター / 川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム / 川崎国際生田緑地ゴルフ場	<ul style="list-style-type: none"> 生田緑地内各施設相互の特性を生かした事業の共同企画・実施 	<ul style="list-style-type: none"> 広報媒体の共同利用や共通情報のデータベース化等、広報活動の連携 職員の研修プログラムの共有的な支援など、連携による管理運営の効率化

展示計画

展示構成

展示構成の考え方

【展示構成のポイント】

- ・川崎から地球、地球から宇宙へと結ぶストーリー軸
- ・川崎の自然を読み解くプロセスを楽しく体験できる展示
- ・展示室でワークショップができるしくみづくり
- ・充実した資料やデータで、本格的な研究も支援できる展示
- ・簡単に更新でき、常に活動成果を反映できる展示

展示構成の特色

①川崎から宇宙へ、展示室からフィールドへ、2つの軸

②展示とワークショップ等の諸活動が共存できる場づくり

天文展示

地球や宇宙の
基本を楽しく
しっかり学べる
展示

- 1 地球と月
- 2 太陽系
- 3 太陽と恒星
- 4 銀河系と宇宙
- 5 GM-II 展示
- 6 川崎の気象

自然展示

身近な自然を
読み解き、発見
するプロセスを
体験する展示

- 1 川崎の大地
- 2 丘陵の自然
- 3 街の自然
- 4 多摩川の自然
- 5 生田緑地ギャラリー
- 6 みんなの展示

プラネタリウム計画

プラネタリウムの基本的な考え方

広く市民に親しまれている川崎市のプラネタリウムの継承と発展

【青少年科学館のプラネタリウムの特色】

- ・学芸担当職員を中心に、学校、地域との連携を図り、より地域に根差した番組制作と解説を行うことができる。
- ・子どもから大人まで、楽しみながら星空の美しさを体験できる。
- ・「見る」から「創る」へと発展させ、生涯学習の一翼を担う。
- ・プラネタリウムの特性を生かして、新たな体験学習を実現する。
- ・研究発表会、講演会、星空コンサート等のさまざまなイベントに対応できる。
- ・最新の天文情報に即応してハード、ソフトともに更新し、発展させることができる。
- ・宇宙から見た地球の映像や、世界各地の天文台で撮影された天体映像など、多彩なコンテンツを活かした投影ができる。

【機器導入計画】

投影機器：新型メガスターを導入

- ・現在のプラネタリウム機能の継承と、天文シミュレーション機能の充実
- ・市内すべての小中学校から見る星空を投影することができるようにし、学習効果を向上
- ・投影機の操作は従来通り手動を基本とし、手動操作中に自動演出に切り替えられる機能を追加

【室内計画】

施設規模：スクリーン直径 18m / 座席数：202 席（同心円配列）

アストロテラスの基本的な考え方

プラネタリウムから本物の星空へ

【観測機材計画】

- ①新規機材の導入：太陽専用望遠鏡 / 20cm 屈折望遠鏡 2 台 / 30cm 反射望遠鏡 / 大型双眼鏡
- ②既存観測機材の活用：既存ドーム内に設置された 40cm 反射望遠鏡
 - ・新たに CCD 撮像装置^{*1}を整備し、研究、観測、撮影用機材として活用
 - ・太陽観測専用望遠鏡を新たに同架し、太陽観測用望遠鏡としての機能を充実化

*1 天文観測用にノイズの影響を低減させた撮影装置。天体の明るさを正確に測定することができる。

【室内計画】

200 名程度収容可能な空間規模（約 100m²）を確保

施設計画

施設構成

教育普及機能	<ul style="list-style-type: none"> ・実験実習室や実験準備室を充実させる ・星空を忠実に再現できる「新型メガスター」を備える ・アストロテラスは、さまざまな天体の観察ができる学習の場にする
展示機能	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎の身近な自然をテーマとした自然展示と、来館者に天体に親しんでもらうための天文展示で構成 ・各テーマの充実を図り、教育普及活動と共存できる場づくりを行う
調査研究機能	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究活動を行うスペースや機能の充実を図る
収集保存機能	<ul style="list-style-type: none"> ・標本資料や図書資料を収納できるスペースを確保し、標本資料の性質にあわせて保存する
利用者サービス機能	<ul style="list-style-type: none"> ・生田緑地の情報を利用者に提供するインフォメーション機能を導入する ・レストスペース機能として、利用者の休憩・軽食および学校団体利用の際の昼食スペース（雨天時等）を確保
施設管理機能	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限りバリアフリー化をはかり、多目的トイレや授乳室などを整備。地球環境に配慮し、環境負荷の小さい施設をめざす

諸室の設備計画

自然学習棟	教育普及	プラネタリウム / 番組制作室 / アストロテラス / 実験室 / 実験準備室 / 学習室
	展示 / 利用者サービス	展示室 / 自然観察テラス / 屋上 / エントランスホール、みんなの展示 / カフェテリア / 授乳室
	施設管理	倉庫 / トイレ / その他
研究管理棟	収集保存	収蔵庫 / 荷解室 / 倉庫
	調査研究	天体観測室 / 調査研究室 / 標本製作室 / 展示製作室 / 図書資料室・閲覧室 / ミーティングルーム
	施設管理	事務室 / 更衣室 / 救護室 / その他

運営方針

市民・利用者の参画と協働による柔軟な管理運営

親しみをもてる開かれた科学館であるために、市民・利用者が主体的に参画できる仕組みを整えます。多様な意見・要望に応える柔軟な管理運営を展開します。

安定的で持続可能な成長をとげる管理運営

安全・安心で快適な施設であるために、適切なメンテナンスと時宜に応じた改善を行います。市民・利用者の満足度を持続的に高める管理運営に取り組みます。

民間活用等による効果的・効率的な運営

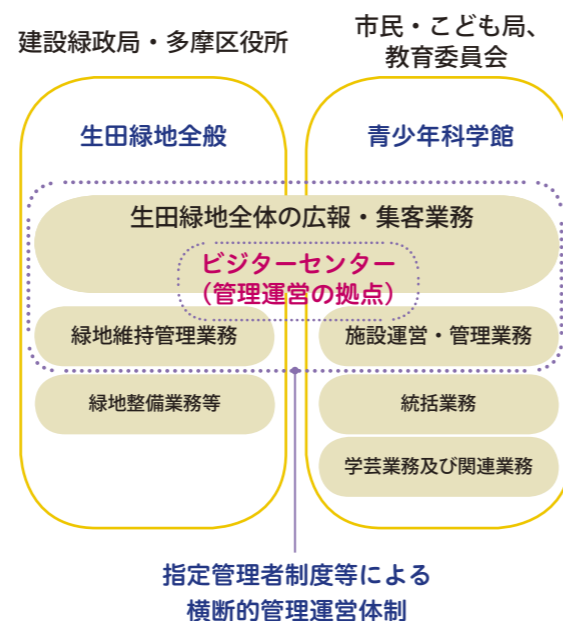
青少年科学館の質や魅力を高め、サービスの向上を図ります。経営的な視点による効果的・効率的な管理運営を推進します。

運営方式

- ・ 基幹的業務である統括業務と学芸業務及び関連業務については市直営で行います。
- ・ 施設運営・管理業務については、指定管理者制度を導入することにより、効果的・効率的な施設運営を推進します。

組織体制

- ・ 充実した展示・教育普及・調査研究・収集保存事業を行える体制を整えます。
- ・ 民間活用等による組織の効率化を図ります。
- ・ 諮問機関や市民団体・市民有志の参画を積極的に取り入れます。



開館形態

開館日時

※事業開催や施設管理のために必要があるときは臨時開館日・臨時休館日を設けます。

休館日	例外等について
毎週月曜日	月曜日が国民の祝日に関する法律に規定する休日（以下、「休日」）にあたるときはその翌日
月曜日以外の休日の翌日	休日の翌日が土曜日、日曜日又は休日に当たる場合を除く
年末年始	12月29日から翌年の1月3日まで

原則的に午前9時半から午後5時までとしますが、柔軟で弾力的な運営を検討します。レストスペースの営業日時は、ニーズに応じて拡大・延長することを検討します。

利用料金

- ①入館料及びプラネタリウム観覧料
多くの方が気軽に繰り返し利用できるよう、入館料は無料とします。
プラネタリウムの観覧については有料とし、適正な料金設定を検討します。
- ②資料の特別利用に係る料金
資料などの特別利用（撮影や模写など）に関しては、適正な料金設定を検討します。
- ③事業への参加費
実験教室などの事業への参加費については、材料費等の実費を徴収します。

危機管理

危機管理マニュアルの作成と徹底

震災、風水害等各種災害を想定した危機管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底します。

危機管理研修及び想定訓練の実施

危機管理マニュアルに従って、適宜危機管理研修及び想定訓練を実施します。

広域避難区域内の施設としての災害対策の実施

広域避難場所に指定されている生田緑地に所在する施設として、生田緑地及び緑地内施設と連携した災害対策を行います。

施設の利活用

広報計画

情報を速やかに発信し、広報を工夫して利用の促進を図ります。また、青少年科学館の愛称「かわさき宙（そら）」と緑の科学館」や「サイエンスプリン」、マスコットキャラクター「かわさきぶりん」を効果的に活用し、魅力の発信に努めます。

各種出版物の発行

館の案内パンフレット / 研究紀要 / 年報等の定期刊行物 / 生田緑地の自然や天文等に関する解説書や研究報告書 / 学習教材 等

各種媒体を活用した広報宣伝

インターネット / チラシ・ポスター / 様々な機会・場を利用した PR / ローカルメディアを中心としたメディアへの情報提供 / プレスリリース配信 / パブリシティ活動 / 教員・学校向けの広報・案内

生田緑地の魅力発信と一体化した効果的な情報発信

生田緑地及び緑地内施設の一体管理を生かした広報活動

科学館の魅力を高めるサービス展開

- ①職員の資質の向上
- ②科学館の魅力を高めるためのカフェテリア、ショップのサービス向上
- ③展示室以外の無料スペースを活用した学習サービスの提供
- ④学校団体の利便性に配慮したサービスの向上
- ⑤他施設との連携によるサービスの向上
- ⑥利用手続きにおける利便性の向上

多様な利用者への配慮

- ①バリアフリーの実現とユニバーサルデザインの導入
- ②外国人利用者に配慮した案内情報の提供

進行管理

理念の達成や市民・利用者の満足度の向上に向けて自ら点検・評価する姿勢で臨み、さらに多様な視点を導入した評価を行い、その成果を運営に反映させるシステムを構築します。

計画に基づく事業実施と点検

運営は青少年科学館運営基本計画に基づいて実行し、年度内に適宜点検を行って進捗状況を把握し、適切な進行管理を行います。

事業評価と周知

自己評価と諮問機関等による評価を行い、確定した評価は、広く市民・利用者に周知します。

評価に基づく改善と計画の見直し

短期で改善できるもの、中長期的な取組が必要とされるものを整理し、次年度の計画及びベンチマーク作成に反映させ、持続的で着実な成長に結び付けます。中長期的な取組が必要とされるものについては、青少年科学館運営基本計画の改訂へ反映させることも検討します。

川崎市青少年科学館では、施設の改築に合わせて、科学館の愛称とマスコットキャラクターを募集しました。多数の応募作品の中から決定した作品を、今後パンフレットや広報に活用していきます。

青少年科学館の通称・愛称とマスコットキャラクター



施設の通称として「かわさき宙（そら）と緑の科学館」を使用します。「宙（そら）」は宇宙、「緑」は豊かな生田緑地のイメージしたものです。また、愛称として「サイエンスプリン」を使用します。「プリン」は新プラネタリウムのかたちに似ていることから、数多くの応募者がイメージしたものを採用しました。ロゴマークは二つを組み合わせたものです。

マスコットキャラクター『かわさきぶりん』



『かわさきぶりん』のバリエーション



マスコットキャラクターの『かわさきぶりん』は、自然豊かな生田緑地の地層（頭）とプラネタリウム（身体）をモチーフにしたキャラクターです。

川崎市青少年科学館運営基本計画

平成 24 (2012) 年 3 月

発行 川崎市

編集 かわさき宙と緑の科学館（川崎市青少年科学館）

〒214-0032 川崎市多摩区柵形 7-1-2

TEL: 044(922)4731